

令和 7 年
伊豆市議会 6 月定例会

一 般 質 問

令和 7 年 6 月

令和7年伊豆市議会6月定例会一般質問者と質問事項

6月10日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	13 森 良雄	1 狩野川の清流を取り戻そう	市長	2
		2 学校給食の無償化について	教育長	3
		3 道路に関する地区要望の扱いについて	市長	
		4 伊豆中学校の通学方法について	教育長	4
		5 ㈱土肥PFIソリューションズと伊豆市の係わりについて	市長	
2	9 間野 みどり	1 子どもを取り巻くデジタル機器などを通しての教育上の問題について	教育長	6
		2 保育教諭を募集しても応募者が集まらない現状の検証について	市長	8
3	3 浅田 藤二	1 補聴器の補助	市長	9
		2 野良猫問題		10
		3 ライドシェアについて		
		4 部活動の現状について	教育長	11
		5 米不足について	市長	
4	11 三田 忠男	1 遊休農地の活用と農福連携事業の展開と課題	市長	12
		2 森林環境譲与税の活用について		13
		3 行政財産を有効活用する取り組みについて		
5	5 黒須 淳美	1 伊豆市リサイクルセンターの稼働後の運用状況と更なる活用について	市長	14
		2 修善寺駅周辺まちづくり検討事業を推進するために		15

6月11日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	10 青木 靖	今後の大型事業と財政見通し	市長 教育長	16
7	14 木村 建一	1 「子育て全力宣言」の充実について	市長	18
		2 身体障がい者の身になった「軽自動車税減免」手続きを		19
8	12 小長谷 順二	1 都市計画区域指定後の成果と課題は	市長	20
		2 地籍調査の進捗状況		21
9	4 小川 多美子	1 やさしい日本語と正しい日本語	教育長	22
		2 子どもの近視		23
10	2 飯田 大	道の駅「伊豆月ヶ瀬」の運営状況と今後の方針について	市長	24

6月12日（木）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
11	1 尾垣 和則	1 防災・減災における「共助」について	市長	26
		2 「AED」の設置について		29



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年 5月 23日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13

議員名 森 良雄

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20 分 ・ 30 分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 狩野川の清流を 取り戻そう	市長は修善寺橋の上から狩野川を見たことがありますか。狩野川は泡を吹いて流れてます。この泡は何が原因でしょうか？泡の正体を突き止めませんか？そして、狩野川の汚染原因を突き止めませんか？狩野川の清流は失われていると思いませんか？ 5月24日には狩野川のアユ釣りの解禁日でした。修善寺橋から下流側にはほとんど釣り人は見られませんでした。泡の流れる川では、釣り人も敬遠してしまいます。今年も狩野川のアユ釣りは、上流の一部に限られるでしょう。修善寺や大仁でもアユが釣れるようにしたいものです。それは夢ではありません。市長の決断次第です。狩野川の清流を取り戻しませんか。 市民の中には、狩野川の水質を検査するように請願を出してる方もいます。どういうわけか知りませんが請願は、採択されませんでした。 清流を取り戻すには、水質検査は避けられません。ただ、どんな水質を調べるかが肝心です。狩野川の水質検査は重要です。その前に、狩野川に汚水を流さないようにしたいものです。 以下、3つの質問をします。 ① 水質汚染の原因は、何だと思いますか。 ② 汚水の排出源が、あると思いますか。	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	③ 汚水の排出源を突き止めませんか。 5月12日に天城湯ケ島地区の観光施設を見てきました。施設の名は「湯の国会館」です。この施設の排水処理状況を見せていただきました。感想は、あまりにも古い施設だということです。排水処理は旧式です。今時、こんな施設があるのかと、驚きです。市長も一度見てください。議員の皆さんも、ぜひ見てください。 私が修善寺の瓜生野に50年前に家を建てたときの排水の浄化槽と、同じような排水処理です。その後、修善寺地区では公共下水道の整備が進みました。今では、ほとんどの家は公共下水道へ流してます。 さて、この施設の排水処理は、あまりにもお粗末ではないでしょうか。施設の改善が必要と思います。施設の運営を続けるには、排水処理の改善も必要と思います。伊豆市の施設の排水処理は、他の民間施設の見本となるべきです。 市長は水質検査に熱心です。ぜひ、このような旧式の排水処理施設は改良すべきでしょう。 私の狩野川の水質汚染を解消するための調査は、これからも続けます。	
2 学校給食の無償化について	学校給食の無償化は、準備されてますか。 新聞情報ですが、来年度から無償化が行われると見ました。来年度から、小中学校の学校給食は無償化されますか。準備状況を教えてください。	教育長
3 道路に関する地区要望の扱いについて	道路の補修をお願いする方法について伺います。 瓜生野の県道の補修を、沼津土木事務所修善寺支所をお願いしたところ「伊豆市を通してください」とい	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
4 伊豆中学校の 通学方法について	うことです。 瓜生野の県道はあまりにもひどい状態ですが、市民の中には一度出せばよいと思っている方もいます。 県道の補修をお願いする方法を質問します。 ① どこへ要望をすればよいですか。担当課を教えてください。 ② いつ要望をすればよいですか。いつでも良いですか。 ③ 今年度、要望が通らない場合は、どうすればよいですか。来年度もまた同じ要望を出す必要がありますか。 伊豆中学校への通学方法で問題はありませんか。 「遠藤橋」バス停の混雑は、どうでしょう。 中伊豆からの自転車通学は、いかがでしょう。問題がありましたら伺いたい。	教育長
5 俣土肥 P F I ソリューションズ と伊豆市の係わり について	土肥温泉の運営について、伊豆市が契約した俣土肥 P F I ソリューションズが行う事業について伺います。 ① 会計規模はどのくらいありますか。 ② 外部の会計監査を受けますか。 ③ 会計の期間は、いつからいつまでですか。 ④ P F I を名乗ってますが、P F I の要件(技術・資格の保有や資金)は備えてますか。その根拠は何ですか。 ⑤ 土肥温泉旅館協同組合が母体の会社として、P F I を名乗る特徴は何ですか。 ⑥ P F I を名乗るなら入札をすべきです。入札を実施しない理由を伺います。	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	⑦ 土肥温泉の施設及び設備の維持管理は、(株)土肥温泉PFIソリューションズがすべて行うのですか。 ⑧ 石綿管の交換は伊豆市がするようです。市が負担する理由を伺います。 ⑨ 石綿管の総延長は何mありますか。また、交換の予定は何mですか。 ⑩ 今期の交換のための予算は 2,990 万円です。これで何mできますか。 ⑪ 交換のための工事がすべて完了するのは、いつごろとなりますか。 ⑫ 石綿管について、これで伊豆市の負担は終了しますか。 ⑬ この施設はすべて津波の浸水区域にありませんか。津波浸水区域で設備の更新をするのはなぜですか。津波が来てからでは遅いのですか。無駄ではありませんか。 ⑭ 津波で被災した場合、復興修理は伊豆市がしますか。 ⑮ 温泉施設を市が保有するのは土肥だけです。土肥温泉旅館協同組合にすべてを払下げするつもりはありませんか。	



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 5月 13日

伊豆市議会議長 様

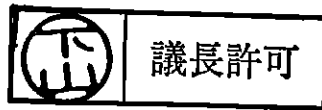
議席番号 9 議員名 間野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ((一括)・分割) ※発言予定時間 (20分・(30分)) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 子どもを取り巻くデジタル機器などを通しての教育上の問題について	待ちに待った伊豆中学校が開校しました。 3月29日、30日の内覧会には私も家族で行きましたが、大変多くの人で賑わっていました。市民の方々は、やはり教育に対しての希望・期待・感心を強くもたれていると実感しました。そこでお会いした方の中には、「“伊豆市はこんなに素敵な中学が出来たよ”と他市に住んでいる娘たちに帰ってくるように言おうかな」とささやいている方もいました。 このような、立派な建物が出来ました。今後は、それにふさわしい教育内容・活動などを考え、運営してくれると思いますが、今、日本の教育上の問題を、他の市町村と同様に、我が市も課題を抱えていると思います。特に、今の子どもたちを取り巻く教育環境は、大変様々な問題があると思います。 近年、タブレットやスマートフォンの普及が進み、中学生や小学生の間でもスマートフォンを持っている姿をよく見かけるようになりました。その中、様々なニュースを目にしていると、こうしたデジタル機器 (ICT・SNS・ゲーム・タブレット) を通じたトラブルが増えているのではないかと心配しています。特に、インターネット上でのいじめや情報の誤用といった問題が取り沙汰されています。また、近年、ゲームを通じて知り合った人物により、ミャンマーに連れて行かれて犯罪に加担させられた事件も報道さ	教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	れました。他にも、振り込み詐欺や闇バイトといった犯罪の低年齢化もいわれるようになってきました。 このように、デジタル機器を使ったコミュニケーションが悪用され、子どもたちが深刻な犯罪に巻き込まれるリスクが高まっています。 その一方で不登校の児童や生徒がバーチャルスクールを活用し、自宅で学び続ける新たな選択肢を得ているケースも県内で見られるようになっていて、伺いました。 これらの新しい課題や機会に対応するため、学校や教育委員会としてどのように取り組んでいるのか、質問します。 ① 子どもたちのスマートフォンの保有率は調査されていますか。また、子どもたちがスマートフォンを学校に持ってきた場合は、どのような対応を取っていますか。 ② ゲームやSNSにおける課金や交流上のトラブルなど、児童や生徒が直面したような問題はありますか。 ③ スマートフォンが広まりつつある現在、子どもたちが犯罪等に巻き込まれないよう家庭や学校、地域社会がそれぞれの役割を果たしつつ、連携して対応していくことが必要だと感じています。このような状況にどのように対応し、どのような取り組みが重要だと考えていますか。 ④ 子どもたちがトラブルに巻き込まれないように、どのように指導されていますか。また、子どもたちが相談できる場がありますか。 ⑤ 不登校やひきこもりなど、県の教育委員会ではバーチャルの世界を利用することを検討していると聞きました。その点について伊豆市ではどのように考えていますか。	

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
2. 保育教諭を募集しても応募者が集まらない現状の検証について	私の前回一般質問でも保育教諭不足について触れたことがありました。 市も、保育教諭の労働環境の改善のために、努力してくださっているのはわかります。 また、先日いただきました伊豆市第1期こども計画や、「育てて育つ」の冊子などを見ても、“子育て支援”については、他の市に比べてもとても充実し、子育て世代目線から見ても素晴らしいと思います。 しかし、この状況の中、やはり保育教諭不足は解消しないのは、子育て支援の施策と保育教諭の労働条件のアンバランスが原因の一つと考えられると思います。 これは、我が市だけでなく、国全体の問題と思い、次の点で質問します。 ① 今の保育教諭不足の現状を教えてください。募集内容、募集状況、採用条件、応募数など、把握している範囲で教えてください。 ② 若い保育教諭に特化して質問します。子育て中の保育教諭も多いと思いますが、早番や遅番、長時間保育、休日・祝日保育、病児保育、病後児保育のサービスを実施するに当たり、それに対する労働条件はどのようなになっていますか。 ③ 今、働く保護者が多くなり、こども園の保育部が多くなり、教育部は少なくなっているとのことですが、その現状はどうですか。また、課題はありますか。 ④ 令和6年度の出生数は70人未満でしたが、その現状から今後の不安や課題はありますか。 ⑤ これからの改善方法はどのように考え、また現場の声はどのように捉えていますか。	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年5月26日

伊豆市議会議長 様

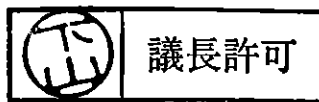
議席番号 3 議員名 浅 田 藤 二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 補聴器の補助	聴力が規定以下の場合、身体障害者に認定され、認定を受けていれば、障害者総合支援法により補聴器購入時に補助が受けられると聞いています。 認定される規定の聴力は高度難聴レベルで、軽度、中等度の難聴では認定されないということです。 以前から、補聴器の補助制度創設について、何名かの議員から質問が出ていました。 質問します。 ① 高度難聴レベルとは、具体的にはどのような聞こえ方でしょうか。 ② 過去の質問を受けてから現在までの進捗状況をお伺いします。 ③ 聴力低下と、認知症との因果関係はありますか。 ④ 補聴器の補助制度の創設についてのお考えをお伺いします。	市 長
2 野良猫問題	市内に人の手が入らない、管理されない空家が増えているように見受けられ、比例して野良猫が増えているように感じています。 質問します。 ① 猫の去勢、避妊手術補助金の利用者は年間何件程度あって、制度を利用する理由を把握されていますか。	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
3 ライドシェアについて	② 野良猫の苦情は、年間どれくらいありますか。 ③ 市の補助金の上限は1匹あたり5千円ですが、手術を動物病院に依頼した場合、どれくらいの費用がかかりますか。 横文字でわかりづらいと思いますので、ライドシェアについて整理したいと思います。 一般の人が、自分の車を使い有償で乗客を運ぶサービスのことで、スマートフォンのアプリなどでドライバーを呼び出し乗車する仕組みになっています。現金は使わず、全てキャッシュレス決済。乗客、運転手が互いにアプリ上で評価され、態度が悪かったり、問題がある場合は、依頼が来ない、乗車させてもらえないなどの影響が出てきます。 本題に入ります。私たちには、電車の駅があると便利なところ、移動が簡単にできるなどの意識があると思います。電車の駅のない土肥、天城、中伊豆方面には便利な移動手段がないため、住みやすさや観光にも電車の駅のある場所とは住民や観光客の意識に違いが出てくると思います。 質問します。 ① 日本版ライドシェアを国が進めていますが、地元のタクシー会社の反応はいかがでしょうか。 ② 伊豆市に限らず、日本の中山間地域では車を持っている人がたくさんいますが、高齢者をはじめとする、交通弱者や観光客など移動したい人もたくさんいます。民業圧迫にならないよう配慮し、工夫しながら現状に合わせて、ライドシェアを進めていくことが大切だと考えますが、特区申請などのお考えはありますか。	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
4 部活動の現状について	伊豆中学校がスタートしました。 1年目で様々な調整が必要となり、先生方のご苦勞が推察されます。 部活動の地域移行が進む中、生徒、保護者、先生方から届く声を聞くと、まさに今、どうしていいのかわからない、練習したいのに練習できない。そんな気持ちがくみ取れます。 質問します。 ① 1年生の入部状況はいかがですか。 ② 入部状況から、今後の部活動についてどのようにお考えですか。 ③ 中学校の部活動の生徒、指導する教員をそのままクラブ登録することは可能ですか。	教育長
5 米不足について	登壇させていただくたびに、食料とエネルギーの自給による持続可能な伊豆市を提案させていただいています。 特に、お米について今の状態では、間に合わなくなるとお伝えしてきました。消費者、生産者とも何を信じていいかわからないような状態が続いています。伊豆市として、どのような対策をしてきたか。これから、市民の不安を取り除くのにどのような対応をしていくのか、お伺いします。	市 長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7 年 5 月 2 6 日

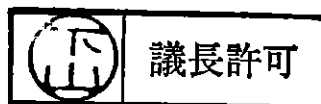
伊豆市議会議長 様

議席番号 1 1 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20 分 ・ 30 分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 遊休農地の活用と農福連携事業の展開と課題	以前にも質問致しましたが、遊休農地の解消には程遠く、一部の事業所で取り組んでいると思いますが、伊豆市として、遊休農地の解消と、障害者の農業に関する所得補償、高齢農業者への支援、人手不足農業事業者支援、田園景観環境整備等意義を持つ農福連携事業に積極的な行政支援をおこないませんか。以下質問致します。 ① 国、静岡県で進めている農福連携事業を伊豆市としてどのように評価していますか。 ② 伊豆市として取り組みの現状と課題を伺います。 ③ 福祉事業者と、農業従事者に新たな行政支援策は検討されていますか ④ 福祉事業者や農業従事者へ期待することはありますか。	市長
2 森林環境譲与税の活用について	国道・県道・市道の道端の草木の存在は目を覆うばかりですが、森林道もまたしかりです。道端の草や木が生い茂り、車を傷つけています。森林環境譲与税をこのような現状に活用できないか以下伺います。 ① 観光地である伊豆市として、森林の果たす役割をどう評価していますか。 ② そのための整備状況と計画を伺います。 ③ 森林道の現状と整備状況の計画について伺います。 ④ 森林環境税の活用計画と、現状の整備状況を伺います。	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
3 行政財産を有効活用する取り組みについて	「お金がないからできません。って役所は言ってるよ。」と市民から、よく聞きます。そこで伺います。 ① 歳入を増やす取り組みの現状と結果を伺います。 ② そのうちの行政財産を有効に活用し、歳入増加の現状があるのか、いくら増えているのか伺います。 ③ 更に、有効に歳入を増やす施策を検討しているか伺います。	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7 年 5 月 26 日

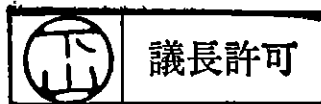
伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 黒須 淳美

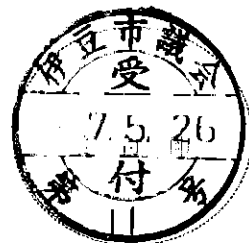
No. 1

発言の種別 (○で囲む)		① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20 分 ・ ☒ 30 分) ② 質疑 ③ 討論 (反対 ・ 賛成) ④ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1.伊豆市リサイクルセンターの稼働後の運用状況と更なる活用について	令和5年1月からクリーンセンターいずが本格稼働したことに伴い、伊豆市清掃センターはその36年の長い役割を終え、新たに伊豆市リサイクルセンターとして生まれ変わるため、令和4年12月からの解体、建設工事を経て、この4月に稼働を始めたところです。 去る3月16日の竣工式に出席させていただいた折、センター内を見学する機会があり、ごみの分別、そしてその先の資源化、製品化などについて改めて考えるきっかけとなりました。 これについて、施設稼働後の運用状況、現時点で課題と考えられること、また今後の利活用などについて伺います。 ① 新施設は市民の利便性を重視した設計との説明がありましたが、実際に稼働しての状況はどうですか。運営管理委託先の従業員の負担が増えているということはありませんか。 ② 施設への進入路の改良工事の進捗状況について伺います。 ③ 粗大ごみの処分について、今後リユースなどの方法も検討していると、見学の際に伺いました。その後、取り組みはどこまで進んでいますか。 ④ 環境教育を推進するためにも施設見学の受け入れなど積極的な発信が必要と考えられます。施設の活用についての今後の取り組みについて伺います。	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
2.修善寺駅周辺まちづくり検討事業を推進するために	本年度予算の重点目標の5番目の政策に「未来を切り拓くためのまちづくり」として、「修善寺駅周辺まちづくり検討事業」があります。 これは、県道伊東修善寺線の修善寺駅前区間の拡幅、それに続く修善寺橋の改良など、道路整備との連携を取りながら駅周辺の交流や賑わいづくり、まちづくりを検討するというものです。 このまちづくりの検討事業は、3年前の令和4年4月に行われた、市長によるタウンミーティングでの住民との意見交換会から始まり、3回のワークショップを経て、翌令和5年6月には、住民への説明会で「修善寺駅周辺まちづくり基本構想」として示されました。 その後、令和6年度に入ってから、基本構想の区域住民を対象に2回、座談会という形で開催され、年が明けたこの3月には、参加者あてに意見を取りまとめたものと、今後の進め方についての文書が郵送されました。内容は、県による伊東修善寺線の拡幅にあわせた賑わいづくり創出や、駅前の再整備に向け今後も住民の意見を聞きながら一緒に検討していく、という趣旨でした。 そこで今年度の取り組みとして、この事業を今後どのように進めていくのか、その方向性について伺います。 ① 県道伊東修善寺線、修善寺橋改良事業の進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。 ② 昨年度までの大学や設計事務所など、民間委託で行われた「修善寺駅周辺まちづくり」のワークショップや座談会について、その成果と課題として浮かびあがったことはどのようなことがありますか。 ③ それを受けての今年度の事業展開の方向性について伺います。 ④ 住民と一緒に検討していくためにも、伊豆市との連携が欠かせません。どのような形が双方にとって望ましいと思いますか。	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年 5月26日

伊豆市議会議長 下山 祥二 様

議席番号 10 議員名 青 木 靖

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間(20分 30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
今後の大型事業と 財政見通し	伊豆市は合併して21年目になりました。合併特例等を使って進めてきた「まちづくり」が形となって現れてきています。その過程で、令和4年9月時に、令和5年度から令和10年度の財政シミュレーションが示されました。 そのうち、松原公園複合施設整備事業・新中学校整備事業・新リサイクルセンター整備事業などは完了し、日向公園整備事業・市道駅前柏久保線改良事業・土肥戸田衛生センター解体事業などは進行中となっています。 ① 予定されていた大型事業が一定程度進んだ現状で、今後、未着手の事業については取組みが予定通りに進むのか、変更があるのか、継続事業の遅れから新規事業が先送りになるケース等があるのか確認します。又、合併特例債後の有利な起債を含めた財源確保の面から、大型事業に影響は無いのか、確認します。 ② 今後、様々な事業が計画されている中で、優先順位をどのように考えていきますか。防災・インフラ(水道・道路)・学校(長寿命化・建設)・公共施設再配置(市庁舎・借地解消)について、それらの必要性の順位・限られた予算の中で財源の振分けの順番をどう考えているのか伺います。 また、防災を最優先に考えるという観点から、更に、効率化を進めるという観点から、事業の優先順位の決定にどのような影響が加えられているのか確認します。	市 長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	③ 令和４年９月の財政シミュレーションでも、伊豆市の人口動向予想、つまり「減少予想は織り込み済みである」と認識していますが、改めて現時点で、人口減少を踏まえた市債の償還計画の状況、今年度以降の事業の財源の確保と将来負担の推移について、予定通りなのか、修正が必要なのか、確認します。 また、長期的な財政見通しは、何年後までシミュレーションしているのか、確認します。 ④ 今後は、必要な大型事業を進めながら、今まで以上に市民生活の幸福度のアップ、生活の質（QOL）の向上に注力していく必要があるのではないかと考えます。 市民生活の中での漠然とした将来不安を払拭し、安心感のある暮らしが継続されるように、メンタルを支えることが出来るようなハード整備・お金の使い方をするこ とで、よく言われる伊豆市のポテンシャルが発揮される と思いますが、見解を伺います。	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7 年 5 月 26 日

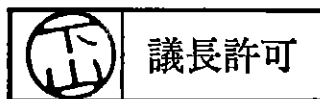
伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 木村建一

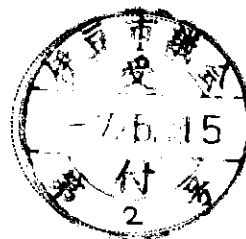
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20 分 30 分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 「子育て全力宣言」の充実について	① 子ども・子育て支援法は、子どもや保護者を支援することを定めている法律で、子どもの範囲が決まてきます。18歳になる年度の終わりまでの人を「子ども」と呼んでいます。子育て全力宣言は法律ではありませんが、去年の12月議会では「年齢を制限して支援するものではない」との答弁でした。子ども範囲がはっきりしないまま施策を続けますか。 ② 「出費が増える小学校入学時に伊豆っ子未来応援金を実施すれば、該当する家庭は長く伊豆市に住んでいただけるであろう」との答弁でした。この施策を実施して2年が経過していますが当初の思いを実現するきっかけになっていますか。 ③ 保護者に思いを寄せた時、中学校入学時にも出費が増えていませんか。小学校に入学する時と同じように応援金は必要ではありませんか。 ④ 高校生の伊豆箱根鉄道通学補助は「支援ができればいいことだが、現在行っているほかの事業の検証や財源を見ながら研究」という答弁でした。その後の研究の経過をお聞かせください。 ⑤ 高校生への電車通学費補助は一家庭の利益とみますか。それとも社会に貢献する利益とみますか。	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
2 身体障がい者の身になった「軽自動車税減免」手続きを	身体障がい者などの軽自動車税の減免制度は、申請しようとする、必要書類は市役所窓口となっており「郵送の申請はできません」という通知が来ます。 静岡県に該当する自動車税の減免申請は、「必要事項を記載の上、報告期限までに提出（郵送）してください。」となっています。静岡県の自動車税の手続きは障害者差別解消法が改正され、2024年4月1日から民間事業者も合理的配慮の提供が法的義務化されています。伊豆市も郵送による申請を認めませんか。	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7 年 5 月 15 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷順二

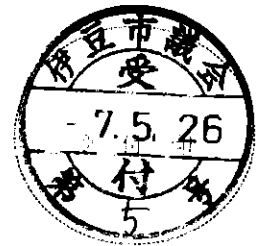
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 都市計画区域指定後の成果と課題は	令和3年3月30日に伊豆市全域が都市計画区域に指定されました。これにより、土肥・天城湯ヶ島・中伊豆地区においても良好な自然、居住環境を維持し、無秩序な土地利用を抑制するため、特定用途制限区域（地域生活地区、幹線道路沿道地区、里山環境共生地区）が設定されました。そして同年10月に都市計画マスタープランを改定し「伊豆市の新しい都市計画」マスタープランが策定されました。 都市計画区域に指定されてから4年が経過しましたので市民からの新築・狭隘道路等のご意見と成果・課題等について伺います。 伊豆市立地適正化計画が令和6年3月に策定されました。この計画は平成26年に都市再生特別措置法の改正により、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住・都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成を推進するために創設された制度であり「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり推進のために、都市計画マスタープランを補完して居住地域や生活に必要な都市機能の集約を図る計画と自然災害に対応するため、防災指針を合わせて定めることにより、市民の安全の確保の方針と手段を明確にする計画でもあると書かれています。 「伊豆市の新しい都市計画」マスタープランと伊豆市立地適正化計画の整合性等の状況について伺います。	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
2 地籍調査の 進捗状況	① 伊豆市立地適正化計画を策定することによるメリットはどのようなものがあるのか ② 「伊豆市の新しい都市計画」マスタープランとの実現を目指す計画として位置づけされているがコンパクトタウン&ネットワークの将来の都市像とはどのようなものか ③ 立地適正化計画は概ね 5 年ごとにモニタリングし、政策評価を行うことになっているが「伊豆市の新しい都市計画」マスタープランとの整合性については 「南海トラフ巨大地震」について、国の有識者会議は 3 月 31 日、最悪の場合は直接死が 29 万 8,000 人、全壊・焼失建物が約 235 万棟に上り、10 年前からの減り幅はわずかで、政府の減災目標を大きく下回る新たな被害想定を公表しました。ほとんどが津波によるものと認識しています。 今回は津波で流された建物等の財産を守るためにも地籍を確定しておく必要があるとの観点から質問します。 地籍調査は国土調査法に基づく国土調査の一つとして実施され、主に市町村が主体となって、1 筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査です。 伊豆市のホームページによると地籍調査を実施するメリットについて「土地にかかるトラブルの未然防止」・「土地取引の円滑化」・「公共事業の円滑化」・「災害の復旧」・「課税の適正化」の五つが明記されていますので地籍調査の進捗状況について伺います。 ① 津波浸水区域における地籍調査進捗状況について ② 調査区ひとつの地籍調査が完了するまでに費やす時間や費用 ③ 所有者不明の土地の対応状況 ④ 立ち合い拒否の対応 ⑤ 筆界未定地のデメリットについて	市 長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 5月 26日

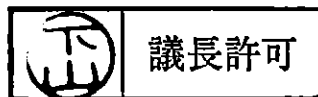
伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 小川 多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. やさしい日本語 と正しい日本語	NHK ラジオで『やさしいことばニュース』という番組があります。日本に住んでいる外国人の皆さんや子どもたちに、安全に安心して暮らせるように、大切なニュースを届ける番組です。 このように日本語でやさしく、わかりやすく語りかけるラジオが聞こえる一方で、近頃聞き返しても意味が分からないような『あざあーす』『うざっ』『かけえ』『やばっ』『むずっ』等の言葉を耳にすることがあります。 明治大学の齋藤孝教授は著書の中で、子どもの語彙の少なさを案じ「決まった言葉だけで過ごしていると、自分の感情も決まった言葉だけでしか表現ができなくなってしまう」と語っています。また「語彙が増えれば、より豊かな感情表現を手に入れることもできるし、より素晴らしい人間関係を築くこともできる」と語っています。 すべての子どもたちがこのような言葉を使っているのではないと思いますが、学校での様子は如何でしょうか。 ① 小学校高学年から中学生頃に友だちとの間でこのような言葉を使っているのではないかと思います。先生たちはご存じでしょうか。 ② もし耳にしていたときにはどのように対処していますか。	教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
2. 子どもの近視	③ 一過性のものでもあるかもしれませんが、どのようにお考えでしょうか。 新学期が始まり、学校では身体測定が行われたと思います。その中には視力検査も含まれているでしょうが、検査結果は如何でしたでしょうか。子どもの近視は学童期に発症しやすいとのことです。特に学童期からスマホやゲームなどの使用時間が増加し、外遊びが減少している子どもたちにおいて、近視の増加が懸念されています。子どもの目は、大人に比べて調整力が強いいため、近くのを長時間見続けると、目が疲れて近くを見やすいように視力調整が起こり、近視が進行しやすくなるのだそうです。また、屋外に出ることが少ないと、日光に含まれる紫外線の影響で、近視の進行を抑えられる効果が期待できるビタミンDが作られにくくなるため、近視になりやすいという研究結果もでているようです。日光を浴びて、外で遊ぶ時間を増やすことは、近視の進行を抑える効果があると考えられています。 そこで次のことを伺います。 ① 小・中学校或は、学年によって違いはあるでしょうが、タブレットの使用時間はどれくらいでしょうか。 ② 子どもたちは休み時間はどのように過ごしていますか。 ③ 短い休み時間には遠くを見て目の休憩をすることが良いとされていますが如何ですか。 ④ 昼休みには外にでて太陽に当たっていますか。日陰でも効果はあるようです。	教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 5月 26日

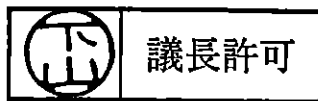
伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ((一括) ・ 分割) ※発言予定時間 ((20分) ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
道の駅「伊豆月ヶ瀬」の運営状況と今後の方針について	道の駅「伊豆月ヶ瀬」は伊豆縦貫自動車道天城北道路、月ヶ瀬インターチェンジに直結し、国道136号からも利用でき、伊豆半島の交通の要衝としての機能を担う、令元年12月14日にオープンしました。敷地面積は16,800㎡ 狩野川沿いの緑豊かな立地を生かした公園が広がります。 目的は、「観光案内機能・地場産品直売所・地域住民が交流できるコミュニティ機能を有する地域振興施設であり、附属する水際公園を含めた適正な維持管理を行う。」とあります。概要は月ヶ瀬地区において、地域交流拠点及び伊豆半島の広域的な観光拠点と位置づけ、道の駅を整備し、観光利用と、日常利用の双方の目的で愛される施設とし活用されており、運営を指定管理者により実施されています。 館内2階の物販コーナーでは、道の駅でしか味わえないわさびや椎茸を使った調味料や、お菓子ははじめ美味・珍味の数々が並び、リバーサイドスタンドでは地元菓子店のソフトクリームが販売されています。1階のテラスキッチンでは、そばやどんぶりもの等、豊富なメニュー、特色ある食材を使用した食事が提供され、人気です。オープンより 5 年半が経過しキッチンカーも常時営業を行っています。休日の昼食時になる、と駐車場、物販コーナーは混雑し、テラスキッチン食券販売には行列が見られ繁盛しています。雄大な自然を誇る道の駅「伊豆月ヶ瀬」を訪れた皆様は癒され、笑顔で伊豆の旅を過ごさ	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	れることでしょう。 オープン以降、コロナ禍を経て今日、利用客の増加で軌道に乗っているとみられる道の駅「伊豆月ヶ瀬」について以下の質問をいたします。 ① 令和２年度以降の利用者の人数は如何ですか。 (物販コーナー、レストラン、駐車場利用件数) ② 納入業者の撤退、新規参加者の動きは如何ですか。 ③ 地域住民への波及効果は見られますか。 ④ 駐車場は十分だと判断していますか。 ⑤ 年中無休ですが従業員は確保されていますか。 ⑥ 公園内管理(草刈り等)は定期的に行われていますか。 ⑦ 近隣の道の駅との特産品販売ネットワーク化は如何ですか。 国土交通省は今年度５月14日に「防災道の駅」を新たに追加選定し全国の道の駅のうち『伊豆月ヶ瀬』が災害時の広域拠点に追加選定されたと報道されました。 災害時に支援活動のスペースとなる駐車場の広さが2,500㎡以上あることが条件としており、施設の耐震化や非常用の電源の設備にかかる費用を最大５年間、交付金などの支援があります。そこで、現時点での対応について回答を求めます。 ⑧ 日向防災センター・公園との使い分けはどのようになりますか。 ⑨ 2,500㎡以上の駐車場確保は可能ですか。 ⑩ 追加設備としてはどのような設備が必要ですか。 以上です。よろしくお願いいたします。	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 5月 22日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 尾垣 和則

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u> ・ 分割) ※発言予定時間 (20 分 ・ <u>30 分</u>) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 防災・減災における「共助」について	防災減災体制をより強固なものとして確立するため「自助」「共助」「公助」の3つ、それぞれの拡充と協力が必要です。 いわゆる「公助」という観点では、各種の施策に対して積極的に取り組んでいただいておりますが、「共助」という点で、「自主防災組織」である市内116の区町内会組織での活動内容から、進捗状況を実効性のある高いレベルで統一する必要性を感じます。活動推進の支援、サポートなど、市からの協力体制等、以下、市としてのお考えをお尋ねします。 ① 区で管理している「防災倉庫」について、その扉の開閉管理は区長などがされていることが多いとのことで、いざ災害発生時に倉庫内のものを利用・使用しようとする際、鍵自体を持っている方が必ずしもその場にいるとは限りません。 例えば「ダイヤル式キーBOX」などを提供して利用することで、災害発生時には住民の誰でもがすぐに使えるようにすることが必要と考えます。そのようなサポートや支援などを行う考えはありませんか。 ② 住民がいざ避難所へ避難することを余儀なくされ	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	た場合、自分自身で必要な物資を抱えて逃げるとい うことは非常に危険であり、重さや大きさなどにも 限界があります。倉庫内の物資は、何をどの位備え ているのかを住民がわかれば、今自分には何が必要 か分かり、持ち出し品を最小限に留め、避難のスピ ードアップが望めます。 市が主導し、各区で統一出来るように考えていた だき、何をどれだけ備蓄しているのか、その内容を お知らせすることを是非推進していただきたいと 考えますが、いかがですか。 ③市の「指定避難場所」へは道のりが長く、その中 を迅速かつ安全に非難することが当然望まれ、避難 経路において想定できる危険を回避するための事 前の備えが必要と考えます。 倒木被害・水害・道路亀裂・外構などを含む建物 崩壊等の被害を避けることを重視し、避難計画を各 自、また家族で作成することが大事と考えます。現 在、各種ハザードマップなどがありますが、避難経 路の危険性は記載がありません。 市において、指定避難場所の提供のみならず、そ の場所にたどり着くまでの「災害発生時の避難経路 における危険箇所マップ」を、それぞれの区の協力 を得て作成し、市民が避難している道中で、別の災 害に遭わずに避難できる状況を作っていただきた いと考えますが、如何でしょうか。 ④以前から各区では定期的に防災訓練を行っていま す。 防災訓練実施後に参加人数や実施内容などを市 の担当へ報告していただいているようですが、 回を重ねても参加人数が増えない現状です。 「共助」という点で考えると、避難場所での共同	

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	作業や、役割分担して力を合わせることの大切さをお互いに理解してもらい、市民全員が参加してもおかしくないものだと考えます。 そこで市として参加人数を増やすため、区と協力して、その啓発、推進することについて、どの様に考えますか。 また、区で行う防災訓練で、事前・事後での問題点や課題を把握し、実効性の高い訓練に高めるためにどのような考えがあるのでしょうか。 ⑤南海トラフ巨大地震発生が予測され防災減災の意識が高まっている昨今、国・県及びほぼ全部の市町が地域防災力の向上の一つとして、「防災士」を増やし防災リーダーの育成・輩出をしていくことを目指しています。 当市においても、それぞれの区に一人の「防災士」がいることで、区自体の防災力向上と近隣の防災士同士の情報提供・情報共有ができ、市民の安全で安心できる暮らしを更に守ることができると考えます。 そこで、当市としても「ふじのくに防災士」資格取得の為に補助金制度（講習費用・5 日間の交通費等）がありその活用が望まれますが、昨年度から始まったこの補助金制度の利用実績について、市としてどのように捉えているのかお尋ねします。 また、今後、防災士の登録の推進の一つとして、日本防災士機構で取得する資格にも補助金制度の対象とする考えや補助金を活用せずに資格取得した防災士が登録する際には、登録礼金などを支給するなどの考えはありますか。	

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
2 「A E D」 の設置について	20年ほど前の2004年に「自動体外式除細動器（A E D）」の市民使用が解禁となり、確実にA E Dの設置普及率は向上しました。 現在、日本国内に推計67万台が設置され、世界でも有数のA E D先進国といわれています。 消防庁は、目撃された心原性心肺停止例のうち、市民によりA E Dが使用されなかった患者の一カ月後の生存率9.7%であるのに対し、使用された患者では42.5%と、蘇生にA E Dが使われた場合、実に4割の患者が生還するという画期的なデータが報告されました。 今や日本人の死因で、男性の1位と女性で2位が心臓停止で、そのA E Dの使用ニーズは増々高くなっています。それと同時に日本循環器学会はCall and Pushを掲げて、胸骨圧迫（Push）心臓マッサージとA E D（ボタンのPush）による蘇生法を呼び掛けております。 今後もA E Dの設置普及だけにとどまらず、積極的に活用されることが大きく望まれます。 このようにA E Dに対する社会的な要請が増大する一方で、現在直面する課題というものが大きくは2点、クローズアップされています。 一つ目は「心肺停止したその場にA E Dが設置されていなかったこと」、二つ目は、「設置されていたにもかかわらず、設置場所の施錠により持ち出せないことや、不慣れで操作が遅れたこと」です。 これは、設置している施設が閉まっていると、A E D持ち出せない。また持ち出しが出来ても、A E Dは聞いたことがあるが実際に触ったことがなく、操作方法がわからず、作動もしなかったというものです。	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	三島市では、市内の24時間営業のコンビニエンスストアに協力を依頼し、店内にAEDを設置して24時間利用できる体制を整備しています。まずは迅速な119番通報、正確な心肺蘇生法の実施、迅速なAEDの使用による一次救命処置、これらが行えることが救命率向上に繋がると考え、以下お尋ねします。 ①24時間利用可能なAEDの設置場所として、市内のコンビニエンスストア（伊豆市内大手3社の合計で18店舗存在）で未設置の店舗へ市の補助金制度で、AED設置を推進しませんか。 ②市の管理施設において、AED付き自動販売機の設置を条件に、無償でAEDの設置をしている民間企業との連携等で設置数の増加を進められないか考えをお尋ねします。 ③AEDの使用方法や胸骨圧迫心臓マッサージの方法などを知り、かつ迅速な対応が出来るよう、消防署で開催している救命講習などで、できるだけ多くの市民の方々に知識・実技を身に付けていただく働きかけをしませんか。	